

みどり市地球温暖化対策実行計画策定支援業務

プロポーザル選定評価基準

みどり市市民部生活環境課

令和6年4月

1. 基本事項

契約予定事業者の決定にあたっては、本市にとって最適な事業者を選定するため、公募型プロポーザル方式を採用し、評価点の最も高い提案者を契約予定事業者、契約予定事業者に次いで評価点が高い提案者を次点の契約予定事業者とする。

2. 審査

審査員については「みどり市地球温暖化対策実行計画策定支援業務プロポーザル審査委員会設置要領」に基づいて設置した選定委員会委員にて行うものとする。

3. 選考方法

評価方法は総合評価方式とし、「企画提案書」、及び「見積書」並びに「プレゼンテーション」を評価する。

4. 評価内容

(1) 企画提案書等の評価

企画提案書等の書類を確認し、提案内容を評価する。

(2) 価格の評価

「見積書」の見積価格について、事業者間を比較し、最も低い価格の見積書を満点と評価する。なお、その他の提案者については、最も低い価格との割合に応じて評価する。

(3) プレゼンテーションの評価

プレゼンテーションを実施し、企画提案内容について総合的に評価する。

5. 評価点

(1) 合計500点満点とし、配点を次のとおりとする。

- | | |
|----------------|------|
| ①企画提案書等の評価点 | 200点 |
| ②見積書の評価点 | 100点 |
| ③プレゼンテーションの評価点 | 200点 |

6. 企画提案書等の評価

(1) 企画提案書等の評価項目

No.	評価項目	評価の視点	配点
1	実施方針	業務内容を正しく理解し、その実現に有効な方針が示されているか。	20点
2	実施工程	業務フローや工程表は、明確かつ適切に作成されているか。	10点

3	実施体制		業務を円滑に実施するための人員の確保や連絡体制は確立されているか。担当者の知識、経験、実績は豊富か。	20点
4	提案内容	理解度	地球温暖化対策実行計画に関する理解度はあるか、取組に関する考え方は適切か。仕様書の内容を適切に反映した提案となっているか。 (現状分析、将来推計、再エネポテンシャル調査、目標設定など業務の取組方針)	60点
5		現状把握 課題解決	本市の現状を把握し、計画策定において考慮すべき課題を的確に抽出し、課題解決のための手法が具体的に記されているか。	40点
6	実現性		提案内容に具体性があり、円滑な業務の実施が可能であるか。	30点
7	発想力		仕様書に示した業務の水準に加えて、新たな視点や業務の目的をより効果的に達成し得る独自の提案等が示されているか。	20点

(2) 評価指標

- ①評価基準全項目について、それぞれの評価項目に沿って企画提案書等の内容を評価し、点数を算出する。
- ②各評価項目は、A、B、C、D、Eの5段階で評価する。
- ③各評価項目の点数については、各評価項目の配点に、評価点を乗じて算出したものとする。評価の判断基準は、以下の表のとおりである。

判断基準	評価	評価点
本市の期待以上に優れた提案である。	A	1.0倍
優れた提案である。	B	0.75倍
標準的な提案である。	C	0.5倍
やや劣る提案である	D	0.25倍
本市の期待より劣る提案である。 または提案の記載なし	E	0点

(3) 算出方法

以下の式に当てはめ、評価項目毎の点数を算出する。評価項目毎に算出した点数の合計点を、企画提案書等の評価点とする。(満点 200点)

「評価項目毎の点数」 = (各評価項目の配点 × 評価点)
「評価点」 = 上記の計算式によって算出された評価項目毎の合計点

評価点の合計を審査員の人数で割った点数を評価点とする。

※小数第1位四捨五入とする。

7. 見積書の評価

(1) 見積書の評価項目

順位	得点
1位	100点(最低価格事業者)
2位以下	(1位の見積もり費用 ÷ 当該事業者見積もり費用) × 100点

※小数第二位四捨五入とする。(満点100点)

8. プレゼンテーションの評価

(1) プレゼンテーションの評価項目

No	評価項目	配点	評価の着眼点	
1	業務遂行力	専門技術 経営規模	5	事業を適正に遂行できる専門技術及び経営規模を有しているか。
		実施体制	5	事業を適正に履行できる実施体制(人員、スケジュール等)が具体的に提案されているか。
		業務実績	5	地球温暖化対策実行計画(区域施策編及び事務事業編)の策定及び改定の業務実績は十分にあるか。
2	企画提案力	実施方針 (全体評価)	10	委託の目的に沿った提案となっているか。
		理解度	10	地球温暖化対策実行計画(区域施策編及び事務事業編)に関する知識が豊富であるか。仕様書の内容を適切に反映した提案となっているか。
		現状把握 課題解決	15	本市の現状を把握し、計画策定において考慮すべき課題を的確に抽出し、課題解決のための手法が具体的に記されているか。

		実現性	15	提案内容に具体性があり、円滑な業務の実施が可能であるか。			
			30	排出量の現状把握においては、本市の実態に近い排出量を推計できる方法が提案されているか。			
			10	再生可能エネルギーの現況把握やポテンシャル調査方法は適正な方法が提案されているか。			
			10	事務事業における排出量の把握方法は、実現性のある具体的な提案がなされているか。各課が容易に入力できる方式が提案されているか。			
			10	温室効果ガスの将来推計や削減目標、再生可能エネルギーの導入目標に関する提案は適正か。			
			10	温室効果ガス排出削減等に関する施策の検討方法は、実現性のある具体的な提案がなされているか。			
			30	みどり5つのゼロ宣言との関連付けに関する提案は、本市の期待する提案となっているか。			
			10	事務事業における温室効果ガス排出量の削減目標の設定は、実現性のある具体的な提案がなされているか。			
			5	地域気候変動適応計画に関し、影響の調査方法や適応策の検討方法の提案は実現性があるか。			
		発想力 自由提案	10	仕様書に示した業務の水準に加えて、新たな視点や業務の目的をより効果的に達成し得る提案等が示されているか。			
		3	取組姿勢	取組意欲	5	分かりやすく熱意のあるプレゼンテーションとなっていたか。	
					信頼性	5	質疑への応答は的確だったか。

(2) 評価指標

- ①評価基準全項目について、それぞれの評価項目に沿って企画提案書等の内容を評価し、点数を算出する。
- ②各評価項目は、A、B、C、D、Eの5段階で評価する。
- ③各評価項目の点数については、各評価項目の配点に、評価点を乗じて算出したものとする。評価の判断基準は、以下の表のとおりである。

判断基準	評価	評価点
本市の期待以上に優れた提案である。	A	1.0倍
優れた提案である。	B	0.8倍
標準的な提案である。	C	0.5倍
やや劣る提案である	D	0.3倍
本市の期待より劣る提案である。	E	0.1倍

(3) 算出方法

以下の式に当てはめ、プレゼンテーションの評価点を算出する。(満点200点)

$$\text{「評価点」} = (\text{各評価の配点} \times \text{各評価の評価点}) \text{の合計点}$$

評価点の合計を審査員の人数で割った点数を評価点とする。

※小数第二位四捨五入とする。